

2023年度 卒業式・修了式 学長式辞

Stay hungry, stay foolish! この言葉は、皆さんが使っている iPad や iPhone を製造しているアップル社を創業したスティーブ・ジョブズが、アメリカ・スタンフォード大学の卒業式の祝辞で用いたキーワードです。直訳すると「どん欲であれ、愚かであれ」となります。

この言葉自体は、20世紀の建築家：バックミンスター・フラワーが全地球カタログで示したワードの引用です。フラワーは今でいうSDG'sに関わる「宇宙船地球号」という概念を提案した発明家です。この言葉の私の解釈は、最後に述べることにします。

さて、学士・修士の皆様、卒業そして修了おめでとうございます。教職員を代表して、お祝い申し上げます。ご家族の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

私は本学に赴任して4年になります。つまり、学部卒業生と同級生で、この4年間は同じ空気を吸ってきました。学部生の入学と同時にコロナ禍が始まり、入学式は開催できずに延期、授業も5月の連休明けからという異常なスタートとなりました。修士修了生もパンデミック感染症の影響を被ったキャンパス生活でした。

この通常ではなかったコロナ生活をポジティブにとらえるかネガティブにとらえるかは、これからの生活にかかっているといえます。換言すると、これからの人生が成功すればコロナ禍を経験したからだと考え、人生につまずけばコロナ禍のためだと考えてしまうと思うのです。皆さんは、コロナ禍を乗り越えたからこそ今の自分がある、と言えるように挑戦してほしいと願っています。

例として、アップル社を立ち上げたS・ジョブズは、自社から一度退職させられています。しかし、再度アップル社に迎えられ、工夫と努力によって、さらに会社を発展させました。S・ジョブズが一度自社を追われどん底に落とされたことを、私たち

が経験したコロナ禍に例えられないでしょうか。S・ジョブズがアップル社を復活させる過程で、日本のものづくり文化が大きな影響を与えたことはあまり知られてはいません。彼は3つの観点から、日本文化を参考にしました。①何枚もの版画を重ねて印刷する「新版画」の技法をスマートフォンのシステムづくりに、②iPhoneの手になじむ形は日本の焼き物：陶器の曲線から、③高い性能をコンパクトに凝縮する技はソニーから、とされています。

iPhoneに代表される情報化・IT化の発展は、半導体が土台となっています。半導体に関して、日本は台湾のTSMCやオランダのASMLに水をあけられています。しかし5Gから6Gへの変換では、電気ではなく光を基礎とするIOWNの構築で、NTTやソニーなどが巻き返しを狙っています。おそらく日本企業はもう一度世界のトップに立つでしょう。

産業革命以後の機械化・電力化そして半導体を基礎とする情報化の急激な発展は、私たちの日常生活を便利にしました。しかし、その一方で、運動不足による不健康という負の代償をもたらします。そこで重要になるのが「体育教育」です。今日、サステナブルな健康には、身体運動を理論と実践で支える、教養としての「体育」こそ重要だと言えます。本学の創立者：二階堂トクヨ先生が、100年も前に「女子体育」の重要性を見抜いていたのは、見事という他ありません。その意味で、皆さんはニチジョを母校にもつことを、誇りに思えるはずです。

本日、卒業・修了する皆さんは、教員免許・保育士の資格を取得して教育に専念する人、スポーツ選手や芸術家としての活躍をめざす人、そして企業への就職を含めて、様々な進路を選択していると思います。

今、静かな心で式典に参列している皆さんに対して、冒頭で引用したキーワード「Stay

hungry, stay foolish!」の私の解釈で送りたいと思います。それは、「人生で成功するまで挑戦すること、自分の心の直感にしたがうこと」です。S・ジョブズの純粋でくじけない気持ちを手本に、これからの人生で挑戦を続けてほしいと願っています。

最後に、ご臨席を賜りました来賓の皆様、保護者の方々、教職員と共に、卒業生・修了生を祝いたいと思います。卒業そして修了、おめでとう。

令和6年3月15日

日本女子体育大学
学長 深代 千之